

# 注 意 報

長崎県病害虫防除所長

令和3年度病害虫発生予察 注意報第3号

## かんきつ かいよう病

1. 発生地域（対象地域）                    県内全域
2. 発生程度                                    多
3. 注意報発令の根拠

(1) 9月前期の巡回調査（36筆）の結果、葉では発病葉率は0.9%（平年 0.2%）、発生圃場率は58.3%（平年 10.6%）であった。果実では発病果率は0.9%（平年 0.1%）、発生圃場率は47.2%（平年 2.8%）であった（図1、2、3、4）。

(2) 向こう1か月の降水量は平年並か多い見込みであり、本病の発生に好適である。

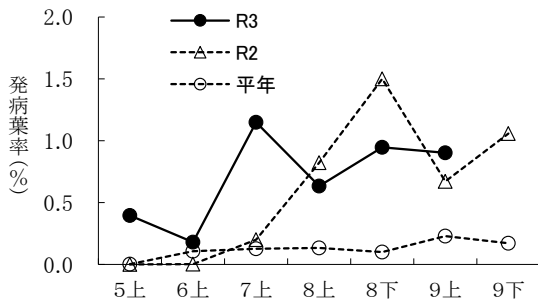


図1 かいよう病 発病葉率の推移 (月・旬)

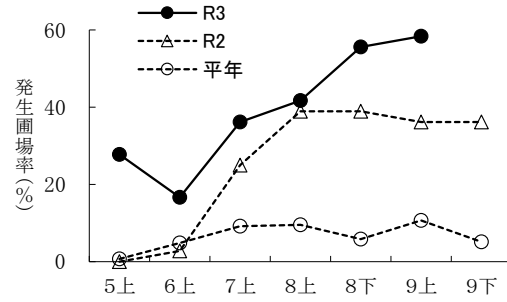


図2 かいよう病(葉) 発生圃場率の推移 (月・旬)

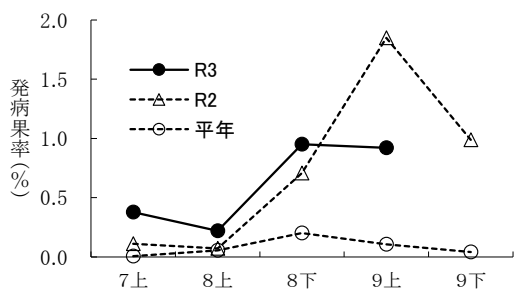


図3 かいよう病 発病果率の推移 (月・旬)

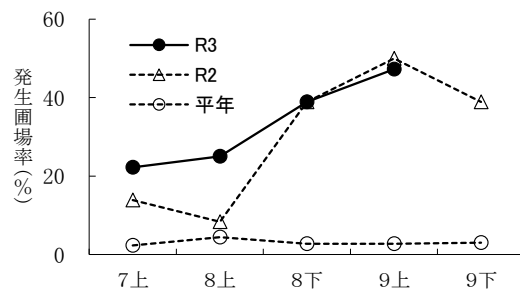


図4 かいよう病(果実) 発生圃場率の推移 (月・旬)

#### 4. 防除対策

- (1) 本病の抑制には、予防的な薬剤散布が効果的である。台風などの強風を伴う雨が予想される場合には、事前に銅水和剤の散布を行う。ただし、収穫期が近い品種では、果実に汚れが残る恐れがあるので注意する。
- (2) 樹上で越冬した菌は翌年の感染源になるため、発病枝や発病果は除去し、圃場外に持ち出し処分する。
- (3) 銅剤は高温期に散布すると葉害を生じることがあるため注意する。また、葉害防止のため農薬のラベルに従い、炭酸カルシウム水和剤（クレフノン等）を混用する。
- (4) 各品種による耐病性は下表のとおりである。耐病性が弱い品種は特に注意する。

表 かいよう病に対する各品種の耐病性（長崎県病害虫防除基準より）

耐病性	品 種 名
弱い	グレープフルーツ、ネーブル
やや弱い	ナツダイダイ、天草、みはや、津之望、麗紅
中程度	温州みかん、清見、不知火
強い	ハッサク、ポンカン、ユズ、キンカン、日向夏、璃の香

---

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所）ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所） T E L : 0957-26-0027

